

医療法人 和同会
介護老人保健施設 西広島幸楽苑

排泄漏れ0を目指して

～いまから始める排泄自立支援の一步～

> 課題

- 職員に対して『おむつの実態調査』を実施した結果、
- ・サイズの小さい外側のおむつに合う吸収量の多いパッドがほしい!
 - ・フロア間でおむつのあて方に差がある。
- ⇒排泄モレに職員が悩んでいることが判明!!



そこで、新商品の



パッドの吸収箇所を分析する評価シート

評価シートを使用し、衣類汚染やスキントラブルの有無を検証!

■10日間のアウター交換頻度と排泄モレ回数の比較調査結果

	10日間の調査結果				
	1日のインナー交換枚数	排泄モレ(A)		アウターの交換枚数(B)	
		実施前	モニター中	実施前	モニター中
A	6	0	10	5	
B	6	0	10	3	
C	7	0	3	9	
D	5	0	5	3	
E	6	0	4	8	
F	5	1	2	8	
G	5	1	12	7	
H	4	1	14	7	
J	6→5	0	10	1	
交換回数	30	3	70	51	

A:モレは大幅に減少!

これにより、外側のおむつの汚染が減り、

B:使用枚数も約3割削減!

また、臀部・陰部周辺の皮膚の状態が変化した対象者も!
(弱酸性の効果?)

モレの発生が業務に負担をかけていたことが実感できた!

INTERVIEW 発表後のインタビュー

発表を終えていかがでしたか?

「緊張はしましたが、今は無事終わって安心しています」

おむつのあて方はどのように指導されたのですか?

「リブドゥさんからリフレサポーターが来てくれて、各フロアを回り当て方の指導をしてくれました」

リフレのおむつに関してご要望等ございますか?

「パンツタイプに貼り付ける大型パッドが欲しいですね。スマートインは大きなパッドが入って良いのですが、老健は自分でトイレに行く方も多いので、自分で触ってしまってパッドがパンツの中でぐちゃぐちゃになってしまうことが多いんです。なので、パンツに固定できる大型パッドがあればぜひ使いたいですね」